

令和3年度 事業報告書

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

社会福祉法人 鶯鳴会
多機能型事業所

1. 事業所の名称 就労継続支援B型 KoBo れもんぐらす

2. 所在地 三重県名張市西原町 2590 番 6

3. 職員体制

管理者	1名(兼務)	サービス管理責任者	1名(専従)
職業指導員	1名(専従)	生活支援員	1名(専従)

4. 営業日ならびに営業時間

事業所	【毎週月曜日から金曜日、祝】 午前8時30分から午後5時30分
利用者の利用日 ならびに利用時間	【毎週月曜日から金曜日、祝】 午前10時00分から午後4時00分
休所日	土日・年末年始

5. 定員 10名

6. 利用人数 10名 (R4. 3. 31 現在)

7. 利用者送迎 希望により、ドア to ドアの送迎を行った。(9名中8名が送迎利用)

8. 年間利用状況

年度	開所日数	平均利用人数	延べ利用人数	利用率
令和3年度 (令和2年度)	250日 (257日)	9.1名 (8.0名)	2264名 (2051名)	84.0% (88.6%)

9. 利用実績

(利用平均人数:小数点第2位切り上げ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
開所日数	22	21	22	21	22	22	21	22	20	20	14	23	250
利用人数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	
利用延べ人数	220	201	225	189	205	208	168	172	186	178	112	200	2264
利用平均人数	10.0	9.6	10.3	9.0	9.4	9.5	8.0	7.9	9.3	8.9	8.0	8.7	9.1
契約終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1※	0	0	0	0

※契約終了理由→一般就労のため

10. サービス内容

◎作 業・・・意欲を持って集中して働くこと、作業能力・技量等を高めること、工賃を得ること等を目的とし、日課の中心として作業を行った。また、一般就労への意欲がある利用者に対しては、就労に必要な知識及び能力向上のための訓練等を提供し、伊賀圏域障がい者就業・生活支援センター「ジョブサポ

ート ハオ」と連携を図りながら就労相談に乗った。

◎社会活動・・・パン販売で地域社会と交流した。

◎外出・・・2か月に1回、気分転換・経験等の目的を持ったテイクアウトランチを取り入れた。

◎健康管理・・・1日2回の検温、週に1度の血圧測定を行い、希望者には健康診断とインフルエンザ予防接種、新型コロナ予防接種（1回：6～7月、2回：7月、3回：2～4月）を行った。また、例年通り、手洗い・うがい・アルコール消毒を1日2回（登所時・昼食前）徹底して行い、飛沫感染を防ぐため全員にマスクの着用を義務付けた。9年連続ノロウイルス、インフルエンザに感染した利用者はいなかった。さらに、新型コロナウイルス感染症予防のため各種イベントは中止とした。

◎給食・・・希望者対象に給食サービスを提供した。（1食277円）

◎防災対策・・・年に2回（9月、3月）消防署との連携をもち、通報、避難および消火訓練を行った。災害発生時の対応については、今回初の試みとして災害級の地震を想定し身を守る訓練から火災発生時の対応、人命救助（心肺蘇生法、AED）、そして避難所（はなの里）までの避難訓練を行い、さらに保護者による迎え（引き渡し）も含め丸一日をかけて大規模な訓練を行った。また、消防用設備等又は特殊消防用設備等について、定期（9月、3月）に点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告（9月）した。異常はなかった。

◎防犯対策・・・6月24日、警察署と連携を図り不審者侵入対応訓練を実施した。わたぼうし棟にて実地訓練（警察官が不審者役）を行った中で、施設内からしか開錠できないと思っていた正面ドアが警察官の力で自動ドアが開いてしまったというハプニングが発生した。もともと当該事業所の建物（れもんぐらす棟）は手動で施錠しロックがかかっている状態のため安全性は高いものの、来客対応では即開錠してしまうことが度々起こっていた。そのため初期対応としてどんな場面でもインターホンを使用し、来客予定確認を行うことにより、より利用者の安全を確保することとした。

11. 作業内容

①パン・クッキー作業

作業	内容
製造	計量（原材料）、トッピング（具材を生地の上に乗せる）焼成（オーブンで焼く）パンの袋詰め
販売	販売先での接客（商品の品出し、会計）、販売準備
清掃	食器(機材含む)洗い、ばんじゅう（パンを入れる箱）消毒、床、棚、車、窓

②下請け作業 【取引先：株式会社 SMV JAPAN 、東亜ゴム工業株式会社】

内容		
株式会社 SMV JAPAN		東亜ゴム工業株式会社
検品（傘・炭）	タグ切り	バリ取り
商品の箱詰め	タグ付け替え	汚れ落とし
箱作り	値付け	シール貼り
シール貼り		マーキング

12. 作業別利用者数 (R4.3月末現在)

	パン製造班	下請け作業班	給食班	合計
男性	0名	2名	0名	2名
女性	4名	3名	1名	8名
計	4名	5名	1名	10名

13. 工 賃

年度	年間の支払い工賃額の合計	年間の支払い対象利用者数	平均工賃月額※
令和 3年度	1,360,150円	126名	10,795円
令和 2年度	1,307,058円	106名	12,330円
令和 元年度	1,413,518円	116名	12,185円

※算出方法「年間の支払い工賃額の合計÷年間の支払い対象利用者数」

前年度に引き続き、平均工賃の向上を目指し「皆勤手当（2000円）」の導入や新規販売先の獲得を図ったが、平均工賃が下がる結果となった。やはり、利用率の低い利用者や作業取り組み時間の短い利用者は、必然的に工賃も下がるため全体の平均工賃を下げる形となった。

そのような中でも良い変化はあり、工賃アップを目的とする“皆勤手当”を導入したことで今まで祝日を休まれていた利用者が通所するようになり、また、以前は精神的に不安定になると施設外脱走していた利用者が「皆勤手当のために施設外脱走をしない！」と宣言し有言実行された。そして、一年を通し安定した状態で作業に取り組み、本人より「今年は1回も脱走せえへんかったよ！すごいやろ！」と達成感溢れる声を聞くことができた。

14. 苦情(要望)関係

(1) 件数 3月1件

(2) 苦情(要望)内容→解決の方法

No.	苦情(要望)内容	解決の方法～改善の結果
1	取引先の社員に「お疲れ様です」と挨拶したら「間違った言い方してるよ」と言われイラっときた。	外部の方への挨拶について、インターネットを見ながら説明を行った。その内容を聞かれ納得。「勉強になったわ。解決した！」と笑顔で話された。

15. 総括

① パン・クッキー製造班

年度	年間売上金額
令和 3年度	2,134,376 円
令和 2年度	2,143,343 円
令和 元年度	2,191,290 円

年間売り上げに関しては、昨年度に比べ 1 万円弱の減収となった。理由として、2 月に他事業所にて新型コロナ感染者が発生し、感染拡大防止のため当該事業所を 6 日間休所せざるを得なかったこと、さらに、パン関係職員が急遽他事業所の応援に入るなどパン製造・販売が 14 日間の停止状態に陥ったことが挙げられる。しかし、このような状況に関わらず昨年度の売上に近い金額を維持できたのは、それまでの売上が好調だったことを表している。

【販売先】

1. プリチストーンケミテック株式会社（名張市西原町 2350）	企業
2. 株式会社 SMV JAPAN（伊賀市安場 1101）	
3. 株式会社ニューウェイ（伊賀市服部町 271-1）	
4. ファイン株式会社（伊賀市蔵縄手 377-1）	
5. 三重県立特別支援学校つばさ学園（名張市美旗町南西原 229-2）	福祉
6. 社会福祉法人 名張市社会福祉協議会「ふれあい」（名張市丸之内 79 番地）	
7. ひまわり会（定期的にクッキーを大量受注）	団体
8. いきいき武道館（名張市蔵持町里 2928）	

② 下請け作業班 【取引先： 株式会社 SMV JAPAN 、東亜ゴム株式会社】

年度	年間売上金額
令和 3年度	497,241 円
令和 2年度	528,931 円
令和 元年度	644,431 円

以前から、一般就労を希望していた利用者 1 名が見事夢を叶え就職した。就職までの期間は長く当該事業所を利用してから 13 年、夢をあきらめずに下請作業に取り組んだ。作業の傍ら、就職に必要なスキルを磨くため、履歴書の作成や挨拶、電話の受け答えなど本人が希望する内容に沿って職員がマンツーマンで対応した。何度も行った企業説明会、何度も乗った就職相談、関係機関と連携することにより多くの情報が入った。その結果、利用者が希望する条件が揃い面談（9 月）する運びとなり、トライアル雇用（10 月～12 月）を経て本採用（1 月）となった。その後、利用者の勤務先に見学に行く機会があり、働く姿を見た職員は、生き生きとした表情や積極的に人と関わる様子、黙々と続ける行動力に感動を覚えたようである。今後も、一般就労を目指す利用者に対し本人のペースに寄り添いながら進めていきたい。